

№1411, BASTOS, 6 de MAIO de 1974, O PROGRESSISTA, REG. Nº 2695 SAO PAULO, A.P.

バストス週報

第1411号
昭和四十九年
五月六日
月曜日発行
Diretor
Kortí Mori
Redator
Shion Oda
Rua. Pres.
Vargas. 188
C. Post. 112
Fone; 40
BASTOS
C. P.
Annual
Cr. #
40.00
Adiant

断崖 18

大国ブラジルの中の吾々

○先ずブラジルの良い処から列挙してみ
ると、第一付何といっても、世界第四の
大国という点だろう。ソ連が第一だと
いうが、シベリア北部のようになつた世
界じゃ、とても人間は住めまい。
ブラジルは日本の二十倍の面積だぞう
だが、隅から隅まで耕作が出来るわけ
はないが、人口が現在の二倍になつた
と、さして窮屈ではない。熱帯から亜熱
帯にまたがり、南方では冬降雪もある。
その外、よい点は国民が柔軟で、外国
人にも一般に当りがよく、帰化を希望す
れば、手続きは簡単だし、それに革命政
権の施政がとて清浄で、公平だし、吾
々にとってには実に住みよい国だといえ
よう。

○吾々は、聖州に長らく住まうているの
で、聖州のことしか知らぬが、麻州、巴
州、ミナス州、その他に住っている人に
聞けば、例外なく住んでいる所が気に入
っているようである。

茨の道

○そんなよい国だが、吾々農業移民とし
て渡伯した者は、サントス上陸後各方面
に配賦され、正直に云って、配賦地のよ
し悪しによつて、運命が左右される点も
あつたようである。

モジアナの石山にはいつて苦しみだ人
の語も知つて居るが、最初の二、三年は
誰しも食うや食わずの難儀をしたものが
多い。家族の中心になる人に死なれたり
、妻を失つたりして、みじめな転落をし
てしまふ。再起も出来ず、落伍した人も
少なくない。

今でもみじめな生活をして居る人も多
いようだが、さしたる不幸に見舞われな
かつた人は、仕事に勤んできえいれれば、
どうやら頭を上げ、今や子供が成長して
水準乃至水準以上の生活を営んでいる人
が大半であろう。

○商工業で成功、大成功をして居る人も
多い。農業では大成している人が一層多
い。彼らの子弟は、ブラジル社会に完全
に同化して、学者、大学教授、軍人、政
治家、医業、弁護士、官吏とあらゆる方

CASA TARODA

スーパードアイス

冷える夜の炬燵の代用から、
発熱のとき氷杭の代用に、
冷症の人の懐炉として便利です。

何でも揃う

スーパードアイス

食料品、日用品、雑貨、水道用

具・ミシン・冷蔵庫・ガス、等

一切取り揃えてあります。

太郎田屋 嘉加衛門

面に進出して、最近では、吾々友人から
その息子さんがガイゼル政権の中に抜擢
されて閣僚になつた出世頭もある。四十
年前考えも及ばなかつた、よいブラジル
国に居住して、安楽な暮らしのできるよ
うになつたことを、吾々はありがたと思
つて居る。

ブラジルも政治的革命以来、見遠える
ように立派な一流国家に躍進して来て居
るし、そのブラジルに馴染して、その被
護下に生活をし得る条件になつたと思
つてもよいであろう。

○中にはブラジルの生活に順応できず、
或は不幸が重つて、国移法によつて日本
へ帰つた人もかなりの数に及ぶらしい。
気の毒という外はない。

石に噛りついて苦難の道を拓り聞き
、老翁に及んで、祖国訪問を思い立ち、
健康のうちにと実行する人々が、毎年増
加する一方で、今年にはバストスから杜途
に上つた人は三十名を下るまいとのこと
に上つた人は三十名を下るまいとのこと
、全伯から日系の訪日者は、恐らく何千
人という数であろう。これは、一つには
旅行のしやすいシステマが案出されたこ
ともあろうが、コロニアの経済力が想像

SUPERAGI

この味です。
最高の調味料



SUPERAGI
GLUTAMOTO
MONOSSODICO
99%

遠藤貿易株式会社

協和醗酵工業株式会社

輸入元 聖市

製造元 東京

10g

以上に充実に示すことを示すものであ
ろう。四十数年の道のりは、けわしかったが、
だいたい初期の目的に辿りついたと云
え、人のおおの過去を顧りみて悲喜
交々、今昔の感に堪えぬものがあるだ
ろう。

珈琲か大豆か

○四十何年前吾々が渡伯したころは、珈
琲の隆盛期以前で、栽培は上り坂だっ
た。カフエーは、仕領ギアナからブラ
ジルの軍人が一掴の珈琲実をもち帰
り、パラ州の農家に栽培させたのが始
まりで、今から243年前のことだとい
う。パラ州からリオ州を経て聖州に
入り、フアゼンテロ口は黒人奴隷を
使役して珈琲を市場に出し、巨利を
得た。奴隷開放以後、州移民が土
着に代り、その後、今から四五十年
前、日本移民が渡伯するようになった
が、渡伯するようになったのが、安
い賃手に入らぬ。○別荘は、日本
人向きで、はなれようだった。一年
か二年の契約期間が終ると、フア
ゼンダを出て行く者が多かっ
た。吾々も功をいそぐという意
味では、ないが、珈琲園の除草に
あけ暮れ、て、青春(?)を浪費す
るに忍びなくなり、契約期限が
終ると、早速とひ出た。○別荘
も定期的のようになり、霜が
あり、アサイ、し、かりにい
くらかあったとしても、言
うライ、ロンドリナ地方は
度々の霜で

HARRY ECKARDT CHINCHILLA DO BRASIL

- チンチラは、きれい好き、少しも臭気がありません。
- 砂風呂が大好き、ごくこまかい大理石の粉をブリキ箱に入れてやると、ころがって砂浴します。毛の湿気をとるためです。(この粉は私方に用意してあります。
- チンチラは、昼間に就眠し、夜間食事その他活動します。(飼料も私方に用意してあります)
- 水は、カルキの混った水道水より、井戸水がよろしい。(この件については私に御問合せ下さい。)
- チンチラは、成育して四百グラムぐらいのペーゾです。年三回子を産むので、速く繁殖します。
- 美しい毛皮は貴婦人の外套として、賞美されております。

チンチラ (兔兎)

養蚕の将来性について

日本からの企業進出に鉄工業、化学工業など目を醒るものが多い中に、絹糸工業のあるのはさすがだ。ブラジルの生糸製糸は、バストスのブラチ製糸だけかと

思っていたら、最近アラサツパーバ。マリア。パラナ方面へ製糸工場が出来模様で、桑園も大々的に造成されつつあるという。養蚕家がこれまでの十倍も一ベんに急造されるわけはないと思うが、ブラジルの農界の一分野として養蚕業が確実な産業として伸びて行く事は喜ばしいことである。ある養蚕家が一ヶ月二十コントスの繭が十三コントに下落してしまふ、これはとても続けられないと、養蚕をしづらく休止して両建の養鶏に専念しているという。仕事に儲けという魅力がうすれては面白くあるまい。絹糸の場合、公定相場から逆算して、相場がはじき出され、大豆の場合、国際相場場の上下によって、一表五〇コントになつたり、八十コントになつたりする。それが生産費を割ることになると、魅力を失うのは当然だろう。○ブラジルの国土が広いので、南部地方に適応する作物があるように、北部の高温に適当な作物もあるが、北部のように早稲が多く、牧牛の飲む水がなくなると、作物が枯渇し、住民は食(職)を求めて聖州へ流入する難民となることが多かつた。北部地方にはアステ(貯水池)があつて、早稲に備えていたが、アステが村々にあるわけでもないの、雨量の少ない

枯死してしまふ、数年前から流行り出したサビ病に犯かされるようになって、咖啡の魅力は次第にうすれるようだが、サビ病の予防も、駆除剤もあるが、葉品代や労力、大変で充分な手当が出来ぬので、事面倒である。○さういふ咖啡界の曲がり解へ来た時、大豆作がはじまつた。南方の気温の低い地方では、小麦を盛んに栽培した。大豆を大々的に植えたのは昨年で、パラナ産の大豆は七百万トンというから、大した数量だ。米国に次ぐ世界第二の生産高だという。本年は耕地が倍にもなる、都合よくいけば米国をしのぐ数量となるかも知れない。大豆のよい所は、大部分輸出のできることで、外貨獲得する咖啡に似た点である。咖啡も輸出産業として大切打ものであるが、新らしく大豆の栽培したことは、ブラジルにとっては大きな成長である。○パラナ人が清々と大豆に力を入れることで、洋々たる将来を約束されるものといつてよからう。

詳しくは、

ルア オスワルド クルース 四三五番地

竹内までお問い合わせ下さい

電話一ニニ番 一七〇番 二七六番

MERCANTIL TAKEUTI LTDA REPRESENTANTE
Rua Oswaldo Cruz; 435, FONE; 122-170 e 267, Bastos, S.P.

御訪日なさるお方は、もっとも信頼の出来る

「**確実なトリスムを御利用下さい**」

五月七日（日航シマンボ機）

六月十七日（欧州廻り）八月・九月（本年度最終便）

信用できる **東洋国際旅行社**

TOYO INTERNACIONAL TRISUMO LTDA

皆様の御便宜をはかり、一キドル迄、三菱銀行より六カ月より二カ年迄の長期融通の御世話いたします。

ちがう。サキ、横領の「東洋文化社」とは！！

近頃新聞紙上で騒がれている「ブラジル東洋文化協会並びに海洋博センター」の如く、訪日客を騙着し、詐欺横領を働いた不逞のインテキ社とは無関係であります。御訪日の際は最も信用のおける当社を御利用の上安心して御旅行下さい。詳細は左記でお尋ね下さい

代理店 **宇佐美ホテル**

地方では農作も思うにまかせないであろう

連 恍惚の人 52

○吾々は農業政策を云々する資格はないが、農民の力だけでは農業は成立しない。農業は天気まかせだといっている原始農業では問題にたうない。当地バス入すぐうの前の前田育人氏の西瓜作りは有名だが、彼類もしいことだと言えは言えるが、昭子は澁淵用のタンキ車で西瓜畑を水浸しにしてみれば、せびさが迫ってくる。自ずるので、肥料は吸収され、西瓜収穫の分が陶汰されそうだ。茂造を見ていれば後には何を作っても豊作という充実ぶり。昭子は出云なくなることは目に見えていた。無論資本もあるからだが、それだけ動き出さなくならぬことは目に見えていた。では古い資本を充分活用する智能の幼きた。昭子が事務所に来られなくならぬ頃にはあると思う。農業はかくあうねば行は、事務所の方にも昭子を必要としなくぬ。前田田氏の外、農島、松森、山中なっているかもしれない。これも自然陶、水馬、その他合理的な農業を樹立して法と、うのかもしれない。しかし家は、いる人の多いことは、何とい、てもバス云造という陶汰に逆った大さ存在があるト入の誇りである。

○バストスの主産物は養鶏、養蚕、柑橘等であるが、パラナ州の大豆のようたで食品を種々しく作りながら、いつまでにかい産業を併営するようた、文殊の智慧を絞りたいものである。そして、それは土地を継ぐ者、若い人々に課せられた宿題であると思う。

お笑い 国柄

「おれたち、そんななこにコピついているか」
「アラブ人から見ると、おたすだよ」
「彼ら、アラブを売って、国民だもんだ」

地下鉄の階段を上って池上に頭を出す時、雨になつていた。入梅だ。両手は荷物でふさがつてゐるから、傘はあつてもさすことができなかった。ネッカリフを冠つて、かまわず歩き出した。ダスタ兼用のレインコートを着て、雨は運がよい。じとじとと陰気な雨に濡れながら

う歩いて、妙に視界が曇るので気がつく
 と眼鏡をかけたままであった。傍の電柱
 で荷物をささえ、急いで眼鏡を外した。
 便利なものには不便だという実感がある。
 帰って洗濯機を廻わしながら冷凍庫の
 整理をし、洗い上がった下着類を乾燥機
 に突込んで敬老館へ茂造を迎えに行く。
 事務への挨拶代りに、最近のベストセラ
 ーを一冊持って行った。公務員だから、
 金目のものはこちらで遠慮して、しかし
 何か小さなものを上げたくなるのは昭子
 としては自分に協力してくれている彼女
 への礼心だ。そういうお嫁さんは珍らし
 いといわれるので、昭子は半分くすぐっ
 たい思いをしながら丁寧に頭を下げて茂
 造を連れて帰る。
 「お爺ちゃん、今日は溫和しくしていた
 んですね、偉かったわし」
 徘徊しなかつたことを幼児をあやすよ
 うに褒めると、
 「昭子さん」
 茂造は足を止めて、
 「ここへ来るのは嫌ですよ。年寄りばか
 りですからね」
 と、訴えるように言った。
 「でも家に一人ではいられないんだから
 仕方がないのよ。お爺ちゃん。敬老館な
 ろう。お友だちもできるでしょう」
 「ここは爺婆ばかりなんですよ。昭子さ
 ん。私は嫌ですよ」
 自分を何だと思っっているのだらう。と
 昭子は呆れていた。傘は二本用意してい
 たのだが、ひょいといと気がつくとき茂造は傘
 の柄から手を離して濡れたまま歩いてい
 て、聞いた傘はずつと後ろの路上に落ち
 、あるかなさかの風に揺れ、雨の中で嫌
 々をしていく。昭子は急いで取り戻し、
 自分傘をすぼめて、黒い古い編み傘
 の中で茂造を抱くようにして歩いた。
 「昭子さん、私は嫌ですよ、年寄りばか
 りですからね。爺婆ばかりなんですよ。か
 ら。若い人は一人もいませんよ」
 茂造が珍らしく一つことをぶつぶつと
 呟いている敬老館のことと愚痴をこぼし
 たのは初めてだから、昭子もちょっと驚
 いていた。
 「若い人は一人いるでしょう。いつも世
 話になつていられるじゃありませんか。お爺
 ちゃん」
 「はいはい」
 急に茂造の歩調が早くなつたから、昭
 子は緊張した。
 「お爺ちゃん、お爺ちゃん」
 大声で背を叩くと、振り返つて、まじ
 まじと昭子の顔を見てから、
 「昭子さんですね、どうしましたか」
 と言う。時間が、茂造の時間は分断さ
 れて千リ千リバラバラになつていふのだ

と昭子は思った。敬老館を出たときと
 今と、茂造は全く別の時間帯にいる。
 が急に歩調を早めたのは、何か重要なこ
 とを思いついたかもしれないのだが、
 子が背中を叩いたとき昭子を振りみて、
 たったいまのことを忘れたのだろうか。
 もうじき家だということと、急に茂
 造がまた立止まつた。後から小型のトラ
 ックがクラクションを鳴らして通り抜け
 た。道はちよつと広い道が一方通行に
 なつているので、小路を慌しく走り抜け
 る車が却つて殖え、歩行者の危険が増し
 ている。
 「お爺ちゃん、どうしたんです」
 小柄な昭子が茂造の視線を辿つて見上
 げると、道の向うの塀の中から大きな樹
 木が葉を繁らせていて、その緑の中でし
 とどに濡れた泰山木の花が、目のさめる
 ような白さで咲いていた。
 雨だから、傘をさせばつい下を見て、
 泥にぬかるんだ道ばかり眺めて歩くもの
 であるのに、茂造は濡れることには頓着
 なく、傘をかまわず上を向いて歩いて
 雨の中で豪華な咲き方をしている花を認
 めたのである。昭子は胸をつかれてい
 た。泰山木の花は、美しかった。大きな
 花びらが、恐れずに雨を享けて咲いてい
 る。車が走り交う小径の上で、その白さ
 は堂々としていた。昭子もしばらく黙つ

RELOJOARIA TAKATA

腕巻時計をお求めなら、最高級
 の紳士向から御婦人、学生用と
 あらゆる有名品が揃つておりま
 す皆さんの
 ロードベアリアの前 電話 九十二番
高田時計店



眼鏡 黄金屈・ゆびわ・万年筆
 宝石、飾身具類いろいろ
 室内では並通のものがねですが、
 廻るい所ではサングラスに変る
 不思議な最新のコーテッド眼鏡
 おためしく下さい

て梅雨に濡れる花を眺め、そして花と茂造とを較べ見て、この美しさに足を止めるところをみると、茂造には美醜の感覚は失われていたのだと思つた。敬老詣は老人ばかりだから嫌だといったのも、それと関係があるのか、どうか。ともかく泰山木の花に心を奪われた眼りでは、茂造は確に生きてゐるといえるだろう。土曜日は茂造の入浴日と定めてゐる。梅雨だから、どうしようかと迷わないうもなかつたが、この日を過すと、茂造は半月も加を溜めてしまふことになるので、食料はすむとこくりこくりと居眠りを始め、茂造は脱がせて、風呂に入れた。裸に茂造は、半年前に医者に見せた頃と格は変わらぬが、いくらか衰せたのころうか、皺が深くなつたようない気がした。腰骨の形が、前より尖つてゐる。脚子ももうすっきり物慣れて、大か馬を洗うように、さっさとスポンジに石鹸の泡を立てて要領よく茂造の全身を擦つた。が、いくら擦れたといつても、茂造の股間を洗うことにはまだ抵抗がある。できるだけ茂造自身に洗わせようとするのだけれども、石鹸を持たせるといつまでもいつまでも石鹸を弄んでいきりかたし、無理矢理彼の手を股間に押しつけると、睾丸の皺を伸ばしたり、展げたりして、これもいつまでも遊んでゐる。入浴の一番大きな目的は、茂造の場合には垢を落とすより肛門その他を清潔にするにあるのだから、結局は脚子がたまりかねて手を出して洗つてしまふのだが、男のその部分を手で触れるのは毎度妙なものであつた。嫌だと思つてゐるものだから、洗うのも最後になつてしまふ。だから洗い終ると本当はほつとして、勢いよく全身に陸湯をかけてやるのだつた。

電話が鳴つてゐる。脚子はゼミナールに出かけ、今夜は降りかかると分つてゐた。信利からだろうか。どうせ今晩も眠くならぬと言つたのだから。お爺ちゃん、お湯に入つて下さいよ。電話ですから入れますか。入れますね。転ばないようには、慎重に茂造を浴槽に入れてから、まだ鳴つてゐる電話の方へ飛んで行つた。土曜日は本当に忙がしい。脚子さん、元氣？、電話は機嫌の光りからだった。久しぶりに聞く声だった。元氣は、打ひわ、今日のお天と同じような気分よ。自もたえだんて生きてゐるって感じだわ。でも、どうかしたの？、いい話じゃないのよ。こつちも梅雨もさかもしれないわ。

整 体 術 と は
 読んで字の如く、軀を整へる方法です
 頭のてっぺんから、足の爪先さまで
 血の巡還をよくする術です。
 頭痛・神経痛・リョマチ・不眠症・
 足腰の痛み・ピンソク・などの血の
 巡還からくる病氣一切が立ちどころ
 に全快します。

一度おためしください。
 昼夜ともアテンデしております。
 ルア マレシャル・フロリアーノ 二四九番地

榎木はやの
 電話 三六六番
 病んでのち、初て健康の値をしる

「誰か、病氣？」
 「あ、静子、静子がわるいのよ」
 「え、静子って、あの静子？」
 「さうなの、癌なんだから。動かさないうんた。もう一週間もたないんた。お別れをかねて見舞つてやつてほしい。どうする？」
 「どうするって、急な話じゃないの。癌ですって、随分急ね。どこの癌？」
 「急な話じゃないのよ。彼女、一年前に手術したでしよう。筋腫だつて話だつたけど、あのときもう手遅れで、手術といつてもほんの表向きのことしかしてなかつたんだ。御主人だけ、あと一年でさうして宣告されていたんでさうだ。まあ、どうして、手遅れにしてしまつたのかしら。婦人科の癌は早目に発見すれば百パーセント大丈夫だつて聞いたけど、怖いわねえ」
 「静って近眼の眼鏡でも、あんなに頑張つて掛けなかつた女でしよう。あ、さうよ。変なことまで意地張りな人だつたけど、でも癌をねえ。お供さん、言つたの？ 静子はそれを知つてゐるの？ 自分が死ぬつてことをよ」
 「親しい彼女が癌で死ぬとは！」
 次号へ 著者 有吉佐和子

白鳩会の美挙

去る四月二十八日(天長節を一日繰上げ)午後一時より、生長の家会館に於て白鳩会主催の敬老会が催された。会場正面には、市長さんをはじめベレアドール、未賓を迎え、招待された七十歳以上の男女老人百七、八十人がここに顔で並んでいた。

小茂田光嗣氏の開会の辞によると、「白鳩会はお金持ちで、今年あたり会員一同どこかへ遊山旅行に出掛ける相談もあったのですが、それよりバスト入中のお年寄りを招待して、敬老会をして喜んで頂く方がよからうと言う次第で、折角皆様から金一封御届けして下さい。方には御厚意だけ頂きまして、どなた様からも頂きませす、白鳩会の心ばかりのおもてなしとして、お受け下さいませすように。」とのことであつた。西田白鳩会長さんの開会の辞について乾杯、卓上のおすし、赤飯、パステイヌ、その他の御馳走を頂いている内、市長さん、その他の祝詞について余興の踊り、戸田、友谷両師匠の舞踊、白鳩会員のおどりの披露、それがおと、小倉司会さんが上手に指名をして老人たちに歌を明かせ、満場わくわくした賑いであつた。三時開会。

「こんどの白鳩会主催の敬老会は、なかなか立派な思いつきであつた。莫大の費用を自分たちの楽しみに使う代りに、老人を喜ばすために転用するという思いつきは、ちよつとできない相談である。七十・八十となる老人は、楽しみが少ないもので、敬老会などに呼んでもらうことは、老人同志の顔合せともなり、大変嬉しいものである。大変よいことをして下さつたものと、厚く御礼申上げるものである。」

求む

養鶏に経験のある家族

三人以上の助手のある家族を望む

当方、イヌビア駅より六百坪の距離、毎日の買物は、イヌビア組合で、どこよりも安価です。中学校は昼間部と夜間部あります。御視察ください。イヌビア

電話 三十一番

藤田農場

郵函 二十七番

ソ連のノール賞作家ソルジェニツィンは何故国外に追放されたか?

ソ連の収容所「列島」の正体 (2)

東洋学者ネフスキーの逮捕の際には、ソングラスの古文書を押収したが、死亡したネフスキーに對して二十五年後に、ソングラス文章を解読した功績でレーニン賞が授与された。

インテリ風におうとする手間がかかるが、民衆は捜索についてこういつていた。「なにもの探しだ。と。」

捜索のあとに残された者には、打ちのめされ、荒廃した長い生活があるだけだ。逮捕された者に食べ物の包みを差し入れてくるとする。窓口から怒鳴り声が返ってくる。「そんな名前前の者はいない。」「その窓口へ行くのでさえ、レニングラードでは最悪のときには順番待ちの列に五日間も並ばされた。半年後か、一年後に逮捕された者からの応答があるかもしれぬ。さもないければ応答の権利なしと、ぶっきらぼうに当局者は言う。つまり、これはほぼ間違いない。「射殺された」ということなのだ。

逮捕の手段はいろいろある。ハンガリー婦人イルマ、メンデルは、一九二六年



おいしくて胃腸を

整える飲物

一家こぞって召よって下さい。

さい。

お申込次第市内火曜日と土曜日に配達いたします。

デイス、デノベンブ口街

バストス代理人

CP・二十七番

丸山和子

電話 一六八番

にコミンテルンを通じてボリショイ劇場の切符二枚を手に入れた。親しい予審判事クレグリーを彼女が誘い非常に仲よく洗し物を見たあと、判事は彼女がますますルビンヤンカへ連行してしまつた。

一九二七年六月の花薫る一日、モスクワのクスネツキヤ、モストで、スィツ用の青い布地を買つたばかりの丸顔で赤毛の美人アンナ、スクリブニコワがしゃれた青年と二人乗りの馬車に乗り込んだ。が、御者の察しの通り恋人同志のランデブとは速つてこれは逮捕だつた。

あなたに仮にアメリカ大使館に勤務するアレクサンダー、ドルガンという名の米人であつたとして、真昼間ゴリキヤ通りの中央電報局のすぐそばで逮捕されるという事はないと考へてはならぬ。知らぬ男が人波の向うから「サイシヤ！と叫ぶ。「やあ、しばらくだつたなあ、こつちへ来いよ」。そのとき乗用車「ポペーダ」が歩道わきにすつと寄つてくる。数日後にはタス通信は全部の新聞に「ソ連当局はA、D氏の行方不明については何の情報も得ていない」と発表するだろう。

一九二七年、一人の婦人がノボチエルカスグの内幕人民委員部の受付に来た。逮捕された隣人の家に残された乳飲み子をどうしたらいいか、という相談だ。

「お座し下さい、何とかしましょう」との答だ。婦人は二時間坐つていたが、そのあと監房へぶち込まれた。

レニンは論文「競争をどう組織するか」一九一八年一月と、十日の中で、ソ連の土地からあらゆる害虫を駆除する」という統一目標を設定した。害虫の中には「レニンは、すべての階級敵」とも「仕事を嫌う労働者」も加えていた。

たとえばペトログラドの党印刷所の植字工がそれだつた。鉄道はとくに重視されてきた。鉄道従業員の制服に隠れて多くの「害虫」がいたからだ。その連中を引っこ抜くか、一部は「投げ捨て」ねばならなかつた。

吐かなければ、この世のお別れノ、

一九一八年から二十年の時代を考えると、監獄まで行かないうちに消された人たちを大勢の囚人の中に分類すべきだろう。か、貧民委員会が村ソビエトの階級のかげや中庭の隅で片付けた人々をどう分類すべきか、難しい点がいちいある。

一九一八年春までに、社会主義の衰切り者の逮捕の絶え間ない活動が始まつていた。社会革命党、メンシエビキ、アナキスト、人民社会党などの党派はすべて、数十年にわたつて革命家のふりをしていた。つまり、社会主義の仮面をかぶ

YAMAZAKI LTDA

山崎
洗卵機

好評の、山崎自動選別洗卵機の御用命の節は

何卒左記へ

山崎式自動選別洗卵機

バストス代理店

丸山和子

テイヌデネンプロ街 電話 一六八番

つていたのだ。そのために監獄行きとなつた。作家ゴリキヤの抗議のおかげである。グルーブが逮捕されたことを知り得る。一九一九年九月十五日、レニンは「ゴリキヤに「腐ったインテリどもは、こゝでブーブーいわない」とよつは言して、タンボフ県の数カ村から住民連れ立て、一九二一年六月に行われた。同県のいたる所に集中収容所が暴動に加つた。農民の家族を収容するため、設けられた。野原の一部が有刺鉄線で囲われ、三週間の間の、暴動参加の疑いのある家族のすべてをとめおいた。もし三週内に、当の男が自分の首と引替へに家族を受け出しに来なければ、家族が追放された。

一九二二年春、国安政治保安部へG・P・Uと改名したばかりの「反革命、怠業、投獄取り締り」非常委員会、いわゆる「チカ」は、教会の問題に干渉することを決めた。

ターニマ、ホドケピンチは次のような詩を書いた。

折ることば自由にてきる
が、神だけに聞えるように
この詩のおかげで彼女は十年の刑をくら

一九二九年に「ゴールドラッシュ」がつづく

小ばなし
死んだっていい

先日午後二時頃、スーパーでハミガキを買って帰る途中でした。車の激しい大通りで、小学一年生ぐらいの男の子が、口を開いて走っているんです。迷子？と思うって見てたんですが、そのうちでもな。

身なりを見ると半ズボンをはいて小さくはりしている。一人ぼっちで、友だちがいない様子もない。時々、車道へ出そうになるので、思わず、「坊や、危ないよ」と声をかけた。すると、黙って私の顔を見ろんです。

「おかしな子だな、と思って、どうしたの？」といいながら横断歩道を渡りかけた。うしろから来たその坊や、私を追い越すと、立ち止まって言ったんです。

「お父さんは勤めてるし、お母さんもパートで働いてるし、ボクなんか死んじゃったっていいんだ」
かわい声でそれだけいうと、スタスタと道を歩いていった。
「一日中ゆううつな気持ちでした。」
(笑)

老体国

「芥川賞、二十代花嫁と、迫ごろ老体の活躍が目ざましいね」
「若いもんはカタ無しだよ」
「油は切れるし、大國日本もついに老体国になっただんだね」

代卒

「君の立派さ、ずいぶん評判がいいってウワサだよ。頑張ったね」
「いや、内証だけど、友だちに三万円を書いてももらったんだ」
「代卒で、大卒ってわけか」

受験CM

「浪人ヒたくないな」
「さあ、前視にいっぱいはいれよう」
「調子いいぞ、おやじ、ツマミくれ」
「さあ、ギンナン食べて東大へいこう」

あの子

「あの子と遊びたいな」
「アッ、口ウトじゃないよ。プロのパン

「助、プロパンだよ、安くはないよ」
「うん、プロパンは高値だもんね」

非国民

「戦争で、進められていわれて突撃しなは、みんな死んじゃったのね」
「逃げた人が生きのびてるわけよ」
「だったら、洗剤をうんと買い占めちゃおっと」

地位利用

「今週は一度も外で飲めなかった」
「ビールなんかヒマで困ってるせ」
「赤坂あたりは相変らずらしいな」
「おえら方が、芸者あげて交際費節を相談してるんだろう」

冬眠学生

「寝てばかりいないで、たまには大きへ行きなさいよ。みっともない」
「交通費もメシ代も高くなっただもんね」
「じゃ、うちで勉強しなさいよ」
「本もノートも高くなっただもんね」
「じゃ、学校やめてゆきに行きなさいよ」
「それがさ、迫り就職難ときていっもんね」

Organização Rio Branco s/c
ADVOCACIA CONTABILIDADE E DESPACHOS

法律のことなら何でも

御気軽に御相談下さい
シンジケート顧問弁護士
民法・刑法・労働法
会計事務 一山
デスパシヨス
保険(生命保険・自動車保険
農家保険・その他
外国人登録・帰化手続
身分証明・その他
フレンチテヴァルガス街一八八番

法律会計事務所

Dr. 石川雅宏
Dr. 小林平行

FCP
PHONE 〇三番
八〇番

Anúncio de Cine Pastos

五月五日(日)九時半 六日(月)八時
 東映総 天然色 **暴力団再武装** 鶴田浩二 待田京介 近衛十四郎
 野獣八千が噛み合つて、縄張り争ひ、冷酷非情の現代暴力団を血の色で再現する。

五月七日(火) 八日(水) 両夜とも八時
 東宝 総天 然色 **蝦夷館の決闘** 山田ろみ 島田正吾
 加山雄三 三國連太郎
 黒沢年男 倍賞美津子
 田中邦衛 仲代達矢

五月十日(金)八時 十一日(土)九時半(聖市にて二週間映写の場合は「藍より青く」上映)
 松竹 総天 超特作 **同棲時代** 由美かおる 仲雅美 進千賀子
 然色 (由美かおるのオールナイト) (今日子と次郎) 私には確かなものがある、俺はこれだけやさいものが好き、愛のく、ウレ……
 五月十二日(日)九時半 十三日(月)八時

未決定

五月十四日(火) 十五日(水) 両夜とも八時
 東宝 総天 然色 **赤道に賭る** 北大路新也 伊志井寛
 栗原小巻 沢たまき

五月十七日(金)八時 十八日(土)九時半
 松竹 総天 喜劇 **花嫁戦争** 和田アキ子 吉高志ん朝
 秋本欽一 原田大二郎
 武原英子 三木のり平

花むこうになりたいたい野郎どもや、こい、アマラン、はしたない飛べない、美事な女ぶりでございませう、ホホー

御案内

当寺建設二十周年記念法要
 釈迦御降誕灌仏花祭り法要

祝賀会

日時 五月二十六日(日) 正午より

同日午後七時より

奉賛演芸大会境内にて開幕

御招待御案内先
 各師、当地各位、マリリア・ツパン
 アダマンチーナ・イラブル・オ、ク
 ルス・プ、プルデンテ各寺仏教会並
 婦人会、小供会等
 ◎以上相催します。当日朝食の用意も
 ありますから、一日ごゆっくりと、
 お出かけくださいますよう、右御案
 内申上げます。

一九七四年四月二十九日
 バスト又南米本願寺法要執行委員会
 各位様

RACÃO DUTRA

優良の好評噴々の



の使用により一層の

成績を上げて下さい

卵価のよい内に優秀で栄養価の
 すぐれた飼料で最高の成績をあ
 げましょう。

前山商店
 プレシデンテ ヴアルガス街 六三〇番
 電話 二一八番

養鶏飼料部 佐藤 豊
 木口 常治
 藤武良郎